

## - 2 総合科学技術会の活動の状況 ~ 「科学技術連携施策群」の設置

- ◆ 各府省の縦割りの施策に横串を通す観点から、国家的・社会的に重要であって関係府省の連携の下に推進すべきテーマを設定
- ◆ テーマごとの関連施策等の不必要な重複を排除し、連携を強化した上で積極的に推進
- ◆ 平成17年度からの本格的活動に向けて体制を整備

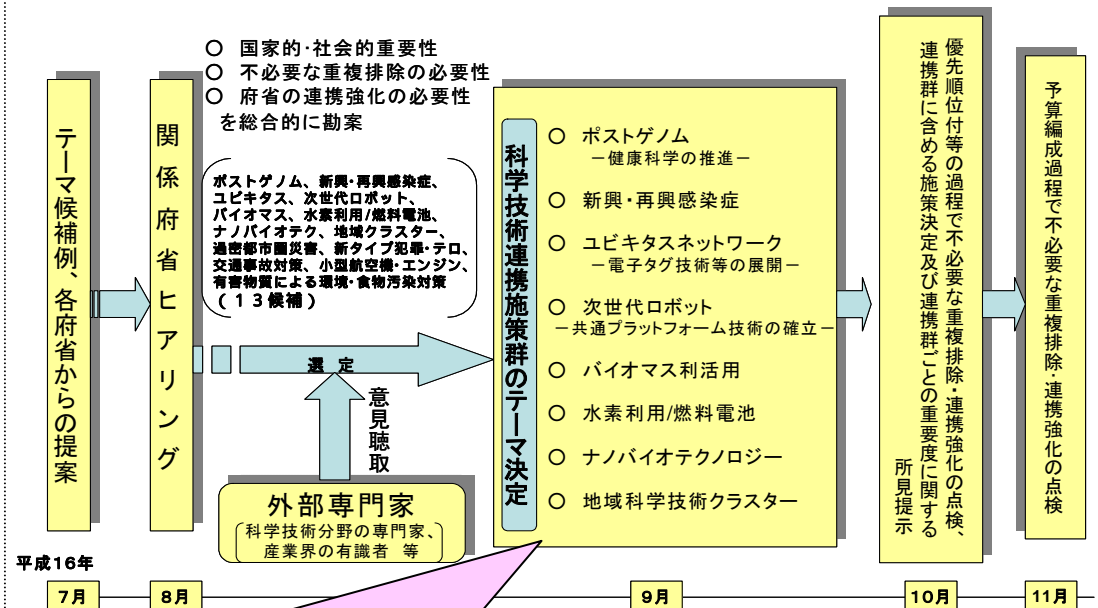
### 科学技術連携施策群創設の背景・これまでの活動

- 科学技術関係予算について、より質の高い施策へ取り組むため、施策間の不必要な重複を排除するとともに連携を強化することを決定(平成17年度科学技術関係予算の改革について平成16年7月23日総合科学技術会議)。
- 具体的には、総合科学技術会議が各府省の縦割りの施策に横串を通す観点から、国家的・社会的に重要であって関係府省の連携の下に推進すべきテーマを設定(8テーマ)。
- 各テーマに含まれ各府省等が実施する関連施策について、科学技術政策担当大臣及び有識者議員が外部専門家の助言を得て、不必要な重複の排除、連携の強化等にかかる点検を実施。
- 平成17年度からの本格的活動に向けて体制を整備。

### 科学技術連携施策群の今後の活動方針

- 各テーマごとに、総合科学技術会議の下に連携推進ワーキンググループを設けるとともにコーディネーターを配置。
- コーディネーターを中心として関連施策の不必要な重複の排除、連携の強化を図った上、各テーマの目標達成に向けて補完的に実施すべき課題について、総合科学技術会議のイニシアティブの下、科学技術振興調整費を活用。

### 科学技術連携施策群の創設にかかわるこれまでの活動



平成16年

7月 8月 9月 10月 11月

### 平成17年度の 連携施策群テーマ、 目標、主な関係府省

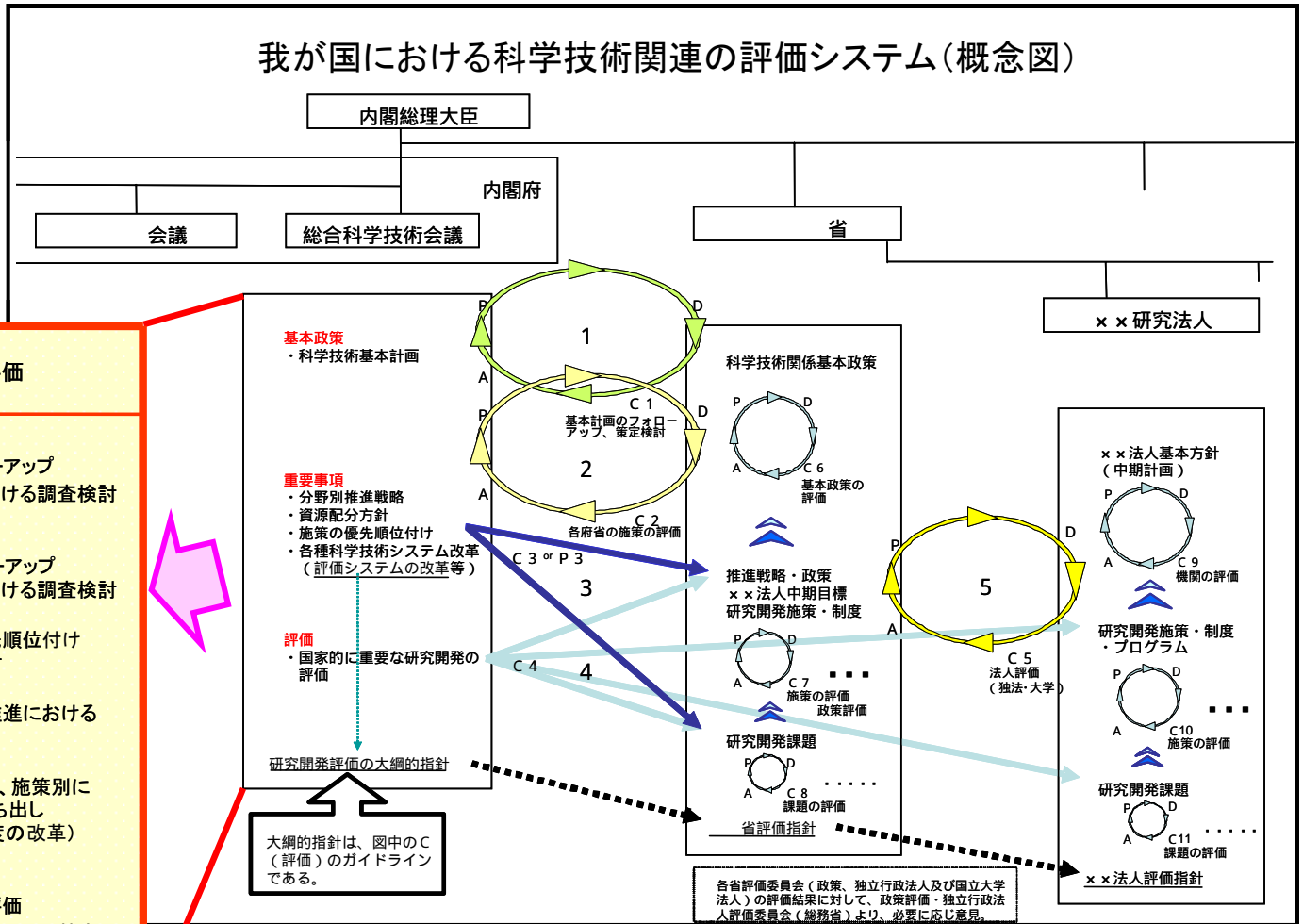
<b>ポストゲノム</b> —健康科学の推進—	テイラーメイド医療やゲノム創薬、予防医学などの確立を目指す 文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省	<b>バイオマス</b> 利活用	バイオマス利用、燃料転換等の技術開発により循環型社会形成を目指す 総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省
<b>新興・再興</b> 感染症	新興・再興感染症から国民の安心・安全を守る研究体制の確立を図る 内閣府、文部科学省、厚生労働省、農林水産省	<b>水素利用/</b> 燃料電池	水素エネルギー社会実現のため水素利用、燃料電池技術の確立を目指す 総務省、文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省
<b>ユビキタス</b> ネットワーク —電子タグ技術 等の展開—	ユビキタスネットワーク社会実現の上で中核的な技術基盤の確立を図る 総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省	<b>ナノバイオ</b> テクノロジー	ナノバイオの融合領域研究により健康寿命延伸等安心安全な社会を目指す 文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省
<b>次世代</b> ロボット —共通プラッ フォーム技術 の確立—	次世代ロボットのさまざまな応用分野に共通のプラットフォーム技術の確立を図る 総務省、文部科学省、国土交通省、経済産業省、農林水産省	<b>地域科学技術</b> クラスター	地域における革新技術・新産業創出を通じた地域経済の活性化を図る 内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

## - 2 総合科学技術会議の活動の状況 ~ 評価の戦略的な活用 (1)

◆ 基本計画を実行するに当たっての総合科学技術会議の使命(基本計画第3章)等の中で、総合科学技術会議は次のような評価を行うこととなっている。

- ① 重点分野における研究開発の推進、資源配分の方針の作成及び国家的に重要なプロジェクトの推進に当たっての評価
- ② 国家的に重要な研究開発の「評価」や各府省における科学技術の施策についての評価
- ③ 基本計画の「フォローアップ」(毎年及び3年経過時)

### 我が国における科学技術関連の評価システム(概念図)



### 総合科学技術会議が行う評価

総合科学技術会議の使命 (基本計画第3章)	実施してきた評価
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画のフォローアップ</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点分野における研究開発の推進(分野別推進戦略の実行状況等について把握・評価)</li> <li>・資源配分の方針の作成(関係府省における施策の取組を把握し、実施中の施策の効果を評価)</li> <li>・国家的に重要なプロジェクトの推進(府省の枠を越えるプロジェクトの実施状況や施策の効果に関し評価)</li> <li>・各府省における科学技術の施策についての評価</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家的に重要な研究開発の評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年及び3年次のフォローアップ</li> <li>・基本政策専門調査会における調査検討</li> <li>・各年及び3年次のフォローアップ</li> <li>・基本政策専門調査会における調査検討</li> <li>・科学技術関係施策の優先順位付け</li> <li>・資源配分方針の策定検討</li> <li>・科学技術連携施策群の推進における評価の実施</li> <li>・優先順位付け</li> <li>・各種専門調査会において、施策別に調査検討し、方針等を打ち出し(例:競争的研究資金制度の改革)</li> <li>・大規模新規研究開発の評価</li> <li>・総合科学技術会議が必要と認め特定の研究開発を指定して行う評価</li> </ul>

## - 2 総合科学技術会議の活動 ~ 国家的に重要な研究開発の評価等 (2)

◆ これまで、総合科学技術会議では、国家的に重要な研究開発の評価等を実施。

総額約10億円以上の研究開発の評価	平成14年11月	研究開発課題164件について府省で実施された評価方法及び結果を評価。府省に評価結果を通知し改善等を求めた。
大規模新規研究開発の評価	平成14年12月	新たに実施が予定されている総額が約500億円以上の次の研究開発3件について評価し、関係大臣に意見具申するとともに予算配分等に反映。(再生医療の実現化プロジェクト、準天頂衛星システム、イネゲノム機能解析研究)
	平成15年11月	新たに実施が予定されている総額が約300億円以上の次の研究開発5件について評価し、関係大臣に意見具申するとともに予算配分等に反映。(ゲノムネットワーク研究、南極地域観測事業、アルマ計画、先端計測分析技術・機器開発事業、第3次対がん10か年総合戦略に基づく研究開発)
指定して行う評価	平成14年度、平成15年度、平成16年度	次の研究開発課題4件について指定の要否を検討。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳科学総合研究(結論:指定の必要なし)</li> <li>・タンパク質関係4プロジェクト(結論:指定の必要なし)</li> <li>・大型放射光施設Spring-8(結論:指定の必要なし)</li> <li>・国際宇宙ステーション計画(引き続き調査・検討)</li> </ul>
競争的研究資金制度の評価	平成15年7月	成果等に着眼して次の代表的な競争的研究資金制度7件について評価し、関係大臣に意見具申するとともに、予算配分等に反映。 (科学研究費補助金、戦略的創造研究推進事業、厚生労働科学研究費補助金、産業技術研究助成事業、新技術・新分野創出のための基礎研究推進事業、地球環境研究総合推進費、戦略的情報通信研究開発推進制度)
継続中の重要研究開発の精査	平成15年9月	大臣及び有識者議員により、府省等における中間評価の実施状況を把握し、適切な時期に中間評価を実施していない研究開発については、適切に評価を実施するよう要請するとともに、次の主要なもの10件を抽出して精査し、予算配分等に反映。(超高速フォトニック・ネットワーク技術に関する研究開発、ゲノム科学総合研究、遺伝子多型研究(第1期)、地球観測フロンティア研究、高温工学試験研究炉、Bファクトリー計画、大型ヘリカル装置(LHD)、地層処分技術調査、石油資源遠隔探知技術の研究開発、地域活性化創造技術研究開発事業)